

会議録

会議の名称	平成25年度 西東京市青少年問題協議会 第2回
開催日時	平成25年8月26日（月曜日） 午前10時から午前11時30分まで
開催場所	西東京市役所田無庁舎5階 503会議室
出席者	委員：石田委員、市川委員、河西委員、金原委員、小峰委員、住田委員、西原委員、藤澤委員、真鍋委員、森本委員、谷津委員、山崎委員 （五十音順） 事務局：金谷子育て支援部長、中尾根子育て支援課長阿久津調整係長、田中主任名古屋児童青少年課長補佐 欠席：阿部委員、酒井委員
議題	1 青少年問題協議会報告書の作成について 2 その他
会議資料の名称	会議次第 資料1 西東京市青少年問題協議会事務局名簿
記録方法	発言者の発言内容ごとの要点記録
会議内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事異動に伴う事務局職員紹介・挨拶 ・ 欠席者報告 ・ 資料確認 ・ 副会長挨拶 <p>事務局： なお、この会を進行するに当たって、今後副会長を座長と呼ばせていただきたい。</p> <p>座長： それでは議題に入る前に、前回の会議録の承認を行いたい。</p> <p>委員一同： 異議なし。</p> <p>座長： それでは承認させていただく。</p> <p>座長： 報告書（案）のとりまとめについて、専門部会長から報告願いたい。</p> <p>A委員：</p>	

子どもを取り巻く状況を把握するというテーマを決め、専門部会が設置された。専門部会では、児童館にいる子ども達、保護者、中学校の教員から話を聞き、三者を結ぶ色々な情報を得て状況を把握し、どのようにしていけば良いかを審議し、子どもの居場所、大人の立ち位置について考えさせられた。

座長：

各専門部会委員から意見をいただきたい。

B委員：

報告書は検討を重ね、表現方法等の難しいところもあったと思うが、報告書作成に関わり勉強になった。

C委員：

青少年問題協議会は色々な立場の方が、今後の青少年問題を見据えて意見できる場であると認識した。これが最初の一步で、石を投げたに過ぎないが、色々な立場から青少年問題を多角的に見て、今後の方向性を出せる数少ない場だと思った。

D委員：

色々な部署の方の意見を聞け勉強になった。この報告書が多く保護者の目にとまるといいと思っている。

E委員：

ヒアリングは一部の意見に過ぎないが、この小さな意見を大切に実現していけたらいいと思う。ヒアリングはこれからも続けてほしいと思う。

F委員：

この報告書は一石を投じたに過ぎないが、輪が広がり皆さんがいろいろな考えで報告書を活用していただくと嬉しい。

G委員：

それぞれの立場からの意見を調整することは難しかったと思うが、良い意見がたくさんでいるので、今後生かしていき次に繋げていくことが使命だと思っている。

座長：

報告書（案）について、質問や意見を伺いたい。

H委員：

専門部会で協議の時間を特に掛けた部分はどこか伺いたい。

C委員：

報告書（案）の内容について、関係機関との調整に時間を要した。最終的には協議会の意見が報告書（案）に反映されるものとなった。

I委員：

日々の問題行動の対応が主となり、良い方向へ持っていくための問題提起をかみ砕き、実行するまでにはなかなか至らないが、西東京市では良い成果を上げていることが多くあると思う。その様な成果を報告書の中でアピールする事も、更に問題を解決するためのきっかけになるのではないか。

J委員：

今後、市民や関係者が熟読し、これを活かし次に繋げる努力が必要である。何年後かに検証することができれば有意義である。

起きた問題ばかりを見ていると、本当の意味での実態像が見えなく、そこに留まってしまふ。良い所を伸ばしていく姿勢が必要である。その辺りを意識し報告書に入れていくと良いと思う。

K委員：

文言の確認をしたい。

教員ヒアリング内容に解りづらい箇所があった。市民が読むものなので、表現を考えてほしい。

保護者ヒアリング内容に、「ひとり親家庭や貧困家庭をどう支えていったら良いかわからない」とあるが、本来、支えていくべきところは行政や学校だが、保護者からの意見として違和感がある。「支える」という文言を「フォロー」に置き換えたり、「近所の」を加え、表現を和らげたほうが良いのではないか。

J委員：

同じ住民として支えるというような立場を表現に加えれば、「支える」という言葉でも和らぐのではないか。地域の住民が相互協力をしていくことは、報告書に入れていくことは必要だと思う。行政は、近隣の繋がりの中で解決できないものを解決していくものである。

I委員

隣近所での助け合いや、人と人の付き合い方が解らないという意味だと思う。

座長：

「近隣住民の立場として」という表現を追加することでよろしいか。

委員一同：

異議なし。

C委員：

教員ヒアリング内容の「〇〇に対する」という表現方法を修正したほうがよいのではないか。

F委員：

子どもに明らかに原因がある場合においても、先生の指導が間違えていると言われる

というヒアリングの内容であった。

D委員：

ヒアリングの意見を活かし、解りやすく記載する方法はどうか。

委員一同：

異議なし。

J委員：

今期協議会の活動目標に、ヒアリングの目的が書かれているが、各ヒアリングの報告内容に重複して書かれている。各ヒアリングのところには、対象・実施場所・ポイントを記載するとよいのではないか。

K委員：

各ヒアリング報告内容にある「意見」という項目が解りづらい。

座長：

「意見」を「協議会の意見」と修正してはどうか。

委員一同：

異議なし。

J委員：

異質なものを受入れないことや、相手の気持ちに土足で踏み込むようなところがある子どもたちがいる。総括の現状の項目に、子どもへの人権教育が大事であることを追加したほうが良いのではないかと思う。

I委員：

人権尊重の教育はどの学校でも行っている。教育を行っているにも関わらず、人権侵害の事例が簡単に出てくる状況が問題だ。人権尊重教育を行うことについて否定する人はいないと思う。

C委員：

学校生活を充実して過ごすことや、早寝早起き朝ごはん等は基本的な人権の尊重だと思うが、人権尊重の一文があっても良いと思う。現在の文章に追加してはどうか。

委員一同：

異議なし。

J委員：

ネグレクト等の内容に、「医療保健分野」「生活福祉分野」とあるが、「児童家庭分野」を追加したほうが良い。

委員一同：

異議なし。

座長：

本日出された意見を報告書に反映する修正と、確定した報告書を市長と教育長に提出することについては副会長、専門部会長及び事務局に一任させて頂いて宜しいか。

委員一同：

異議なし。

座長：

報告書の配布を各団体に行いたいという意見があったので、団体ごとに必要部数を事務局に申し出てほしい。

以上にて終了。